

α (アルファ)、 β (ベータ)、 γ (ガンマ)、……、これは今から2500年以上も前にさかのぼるギリシア語の文字です。皆さんも数学で、 Σ (シグマ)などを目にしたことがあるでしょう。こうした文字で書かれた書物を読み解き、古代ギリシア人の考えを探ることが私の研生活の始まりでした。

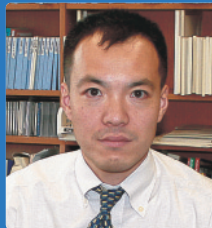
もともと、歴史や思想が好き、古代ギリシアが好きだったから、こうした文字を読み始めたわけではありません。私が大学に進学した頃は、リクルート事件や消費税導入などで、政治不信や政治腐敗という言葉がマス・メディアから頻りに流れていました。当時浪人生だった私もこうした時勢の影響を受け、日本の政治に対して大いなる不満や憤りを抱き、大学では日本の政治の問題点や改善策を学ぶことにしました。つまり、現在の専門分野を志したきっかけは、自分が今生きる社会に対する“怒り”だったという訳です。

それでは、なぜ現代政治に対する怒りが古代ギリシアとつながったのでしょうか。そこに学問の奥深さがあるとも言えます。今の世の中、全世界的に、民主主義が理想とされています。しかしながら、たまにある選挙で一票を行使する程度で、本当に国民の民意が国政に反映されるのか。民主主義の形骸化と言われるが、今の政治の諸制度は文句なしに優れたもので、問題はそれを活用する政治家や国民にあるのか。そもそも民主主義とは、一体全体、何なのか。こうした疑問を経て、拳句の果てに、民主主義を生み出したと言われる古代ギリシアにたどり着いたのです。

そしてもう1つ、大きな研究テーマがあります。新入生の皆さんと大いにかかわることです。すなわち、新入生は前期に何を身につけるべきか。この課題もまた、現行の教養教育システムでは駄目だ、という思いから生まれま

した。全く思いもよらなかったことに、教養教育の起源もまた古代ギリシアまでさかのぼります。私の担当する教養教育科目「学問研究入門」・「社会学」・「社会思想史」は、古代の教養教育を含めたここ数年の研究をもとに実践しており、全国的にとても珍しい講義です。大学生として真剣に学問してみたい方は、大学生生活を豊かにさせるステップとして、履修を検討してみてください。

民主主義も教養教育も、現実に対する怒りや不満から出てきたテーマです。ただし、私は問題の核心をその原点から捉え直すことにしています。今の実状を調べるだけでは表面的で薄っぺらな議論しかできないと考えているからです。皆さんも世の中に対して、何か頭にきていること、怒りが収まらないことがあるはず。そうした気持ちを大切に、さらに深く掘り下げ、とことん考え抜いていくと、自分の研究テーマにつながります。講義を受け単位を取るだけが大学ではありません。自らの問題関心をはぐくみ、一つの論文にまとめ上げる。これこそ大学教育における醍醐味なのです。



■社会学Ⅰ・Ⅱ ■社会思想史Ⅰ・Ⅱ
■学問研究入門

名和 賢美
(なわ けんみ)

1970年生まれ。山形県出身。社会学博士。一橋大学助手などを経て、2007年より現職。デモクラシーについて、古代ギリシアを皮切りに時代社会を問わず調査研究中。特技は保育園への送り迎え。